

様式第3号（第9条関係）

まちなか会議等報告書

まちなか会議等の議題	「モノレール延伸を見据えたまちづくり」 ～新駅周辺をどのようなまちにしていくのか～
開催日時	令和7年11月15日（土） 午前10時から午前11時40分まで
開催会場	町民会館
要請団体名等	瑞穂町議会 広報広聴委員会
参加人数	7名（議員、事務局を除く）
出席議員	チームリーダー：原 司会：大和 総括：下澤 ファシリテーター：森、榎本 書記：川島、高橋
実施内容等	石畑・殿ヶ谷・箱根ヶ崎はモノレールの影響を特に受け関心が高い地域であると推察し、モノレール開通によってどのようなものを期待しているのか意見交換し、No.6・7駅周辺の土地利用・施設等の政策形成に寄与することを目的とした。 実施方法については、グループワークとして2班を構成し、ワークショップを行った。その後、各班代表者による発表を行った。
実施に対するまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・モノレール延伸に対して住民の意識がさほど高くなく、まちのPR不足などの意見があり、検討の必要性がある。 ・No.6駅周辺の施設・開発については、体育館関係、横田基地関係、農地関係についての希望が出され、夢のある施策が望まれる。 ・No.7駅(箱根ヶ崎駅)周辺の施設・開発については、連絡通路を含め商店街が形成されることを望む声や、駅西も含め飲食店や図書館分室など総合的施設が望まれている。 ・賑やかな駅周辺となるよう公有地の有効活用が望まれる。 ※主な意見については別紙参照

令和8年1月23日

瑞穂町議会議長 小川龍美 様

瑞穂町議会まちなか会議等実施要項第9条の規定に基づき提出します。

広報広聴委員会

委員長 下澤 章夫

まちなか会議での意見（町民会館）

N07 駅周辺にはどのような施設や開発が望ましいか

飲食・休憩施設関係

- ・駅西周辺が活性化するためには飲食ができる施設が必要。
- ・拝島駅のような感じで、カフェなどお休み処をつくって欲しい。

連絡通路・商店街関係

- ・広い連絡通路にして商店街のように店舗をつくって欲しい。

駅西関係

- ・駅西周辺の公有地の有効活用に期待したい。
- ・立地が良いので図書館の分室をつくって欲しい。
- ・総合的な施設（子育て施設も含む）が欲しい。

課題として考えられること、対策について

- ・花多来里の郷や吊るし雛などで来町する方が大勢いても食事できるところがない。耕心館で食事できることがPRできていない。
- ・子ども達が楽しく遊べる公園を早く完成させて欲しい。
- ・駅の横断幕をもっと楽しめるものにできないか。
- ・駅を降りて何もないイメージ

モノレール延伸に向けて必要な取り組みは何か

- ・新駅までアクセスする交通手段が必要。
- ・自宅から駅までの交通機関が欲しい。
- ・シルバーパスがあれば、高齢者もモノレールを利用するのでは。

- ・チョイソコは家まで来てくれない。停留所まで歩けないから使えないとの声がある。
- ・八高線を増便してモノレールと連携をとっていかないと。

観光・産業関係

- ・横浜のレンガ館のような魅力ある商店街があればいいと思う。
- ・町の活性化には経済的発展が欠かせない。そのためには就労環境が充実していることが必要。モノレール延伸と企業進出が連動していることが重要。
- ・アニメの聖地を観光の目玉にしてほしい。

その他の意見・提案

- ・モノレール延伸について、地元でもあまり盛り上がっていない。
- ・モノレールの通る地区はいいが、栗原地区などのことも考えないといけない。
- ・コミバスやチョイソコにお金をかけるなら、必要な方にタクシー券を配布した方が経費や利便性から有効だと思うがどうなんだろう。
- ・瑞穂町の認知度が低い。しっかりPRして欲しい。
- ・人を呼べることをする。移住してもらおう。
- ・町には優れた技術を持った企業がたくさんあるが、あまり知られていないのでは。
- ・町内に工場を作りたいが土地がないとの声がある。
- ・子ども達に魅力のある町と高齢者に優しいまちづくりはリンクしていると思う。
- ・入間市のあるアウトレットを町の観光ルートに入れて、人が来てもらうようにする。
- ・高齢になって免許証を返納したいが、足が弱ってきて、近くでも車が必要。
- ・青梅総合医療センターまで通院している人がいるが、福祉タクシーは高額で毎回は利用できない。
- ・買い物に不便。